

箕面都市開発株式会社

平成25年度 平成26年度

決算・予算

〔速報版〕

平成26年6月

箕面都市開発株式会社

平成25年度決算の概要

1 平成25年度予算と決算を比較すると

- 予算編成時及び上半期決算時の見通しに比べ、売上高は増加し、営業利益、経常利益、当期純利益とも、**予算を上回り、経営は順調**です。

2 調停条項と比較すると

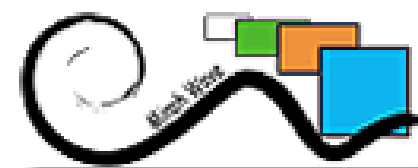
- 期末資金残高について、大幅な経費の削減効果により、**調停条項の想定推移を上回りました**。(※1)
- 純資産額については、昨年債務超過を解消し、繰延税金資産(※2)を除いても、**順調に増加**しています。
- いずれの利益ベース(営業利益・経常利益・当期純利益)においても、**調停条項を大幅に上回りました**。

(※1):未収金等の資産額を含むため、決算書の資金残高との差異があります。

(※2):繰延税金資産とは…将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰り延べ処理することにより生じる資産であります。

3 今後の展望

- いずれの利益ベースにおいても、調停条項や平成25年度予算に比べ大幅に上回る順調な経営となっていますが、これは販売管理費を全体的に削減した効果によるものです。
- 今年度は、新規事業獲得に注力したことにより、長期にわたる安定収益事業を確保することができました。引き続き、それに伴う投資等にも対応できる**キャッシュフロー安定化のための経営努力**を行います。



葛西都市開発株式会社

平成25年度

決算

1. 平成25年度決算

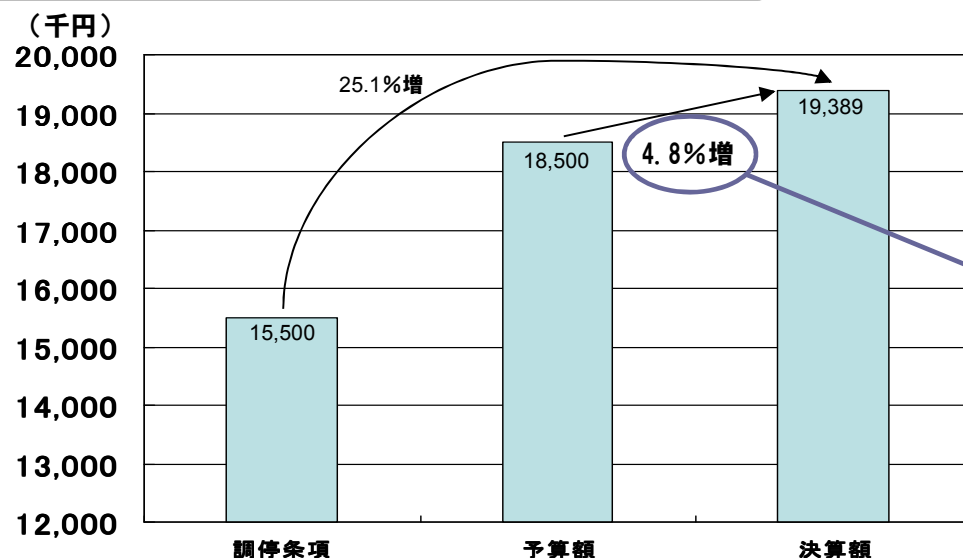
(単位: 千円・%)

	平成25年度実績			平成25年度決算の比較			
	調停条項	予算額	決算額	予算との比較		調停条項との比較	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	108,000	111,000	113,400	2,400	2.2	5,400	5.0
営業利益	15,500	18,500	19,389	889	4.8	3,889	25.1
経常利益	13,561	16,552	17,152	600	3.6	3,591	26.5
当期純利益(※)	6,777	8,531	10,823	2,292	26.9	4,046	59.7
期末資金残高	86,739	93,613	95,766	2,153	2.3	9,027	10.4
純資産額	3,596	10,062	12,356	2,294	22.8	8,760	243.6

土地賃貸契約延長により売上高は予算を上回る

(※)法人税等調整額を除いています。
法人税等調整額とは…税務上の益金、損金で
算定される課税所得と企業会計上の収益、費用
で算定される利益との差額を調整する会計処理
のことをいいます。

2. 営業利益（本業利益）の比較



決算においては、すべての項目において、
調停条項を大幅に上回りました。

要因

土地賃貸契約の延長により売上が大きく伸びたことに加え、人件費
や外注費等の費用削減に努めたことが大きな要因です。

3. 貸借対照表

(単位:千円・%)

	平成24年度		平成25年度		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産合計	499,072	100.0	510,543	100.0	11,471
流動資産	92,940	18.6	103,328	20.2	10,388
固定資産	406,132	81.4	407,215	79.8	1,083
有形固定資産	376,542	92.7	377,746	92.8	1,204
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	29,294	7.2	29,173	7.1	▲121
負債合計	480,912	96.4	477,869	93.6	▲3,043
流動負債	23,801	4.9	28,086	5.9	4,285
固定負債	457,111	95.1	449,783	94.1	▲7,328
純資産	18,160	3.6	32,674	6.4	14,514
純資産(繰延税金資産除く)	1,532	—	12,356	—	10,824

平成25年度の業績が好調だったため、**流動資産**が増加しました。

弁済計画に基づき、平成25年度分を箕面市へ返済したため、**固定負債**が減少しました。

参考1：経営内容を判断するポイント

■会社の経営状況は期間損益の状況を見るだけではなく、資金計画を見ることで経営状況を判断できます。

★調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ①期末にどれだけの資金残高があるのか
- ②純資産額(貸借対照表の資産合計－負債合計)による判断

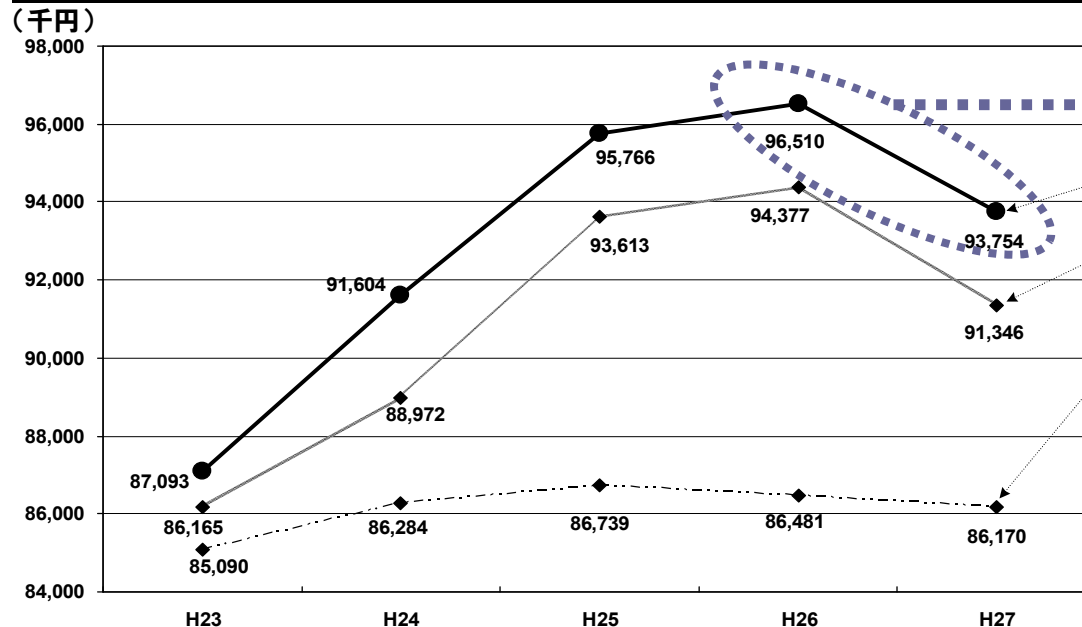
.....➡ **資金計画で判断することが適切**

参考2：資金計画の見込み

(1) 期末資金残高の推移

(単位: 千円)

	各年度の予算・決算実績			平成25年度からの予測	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
調停条項	85,090	86,284	86,739	86,481	86,170
予算ベース	86,165	88,972	93,613	94,377	91,346
決算ベース	87,093	91,604	95,766	96,510	93,754



決算ベース
予算ベース
調停条項

箕面駅前駐車場・駐輪場の建替えを見据えた先行投資(※)により、平成27年度に一旦下降するものの調停条項の想定推移を大幅に上回る予定です。

(※) 箕面駅前駐車場・駐輪場とみのおサンプラザ1号館ビル間の連絡橋設置にむけて、設置予定区域の区分所有権を取得しました。これにより資金が一時的に減少しますが、今後の事業化に向けた契約により期末資金残高が再び上昇する見込みです。

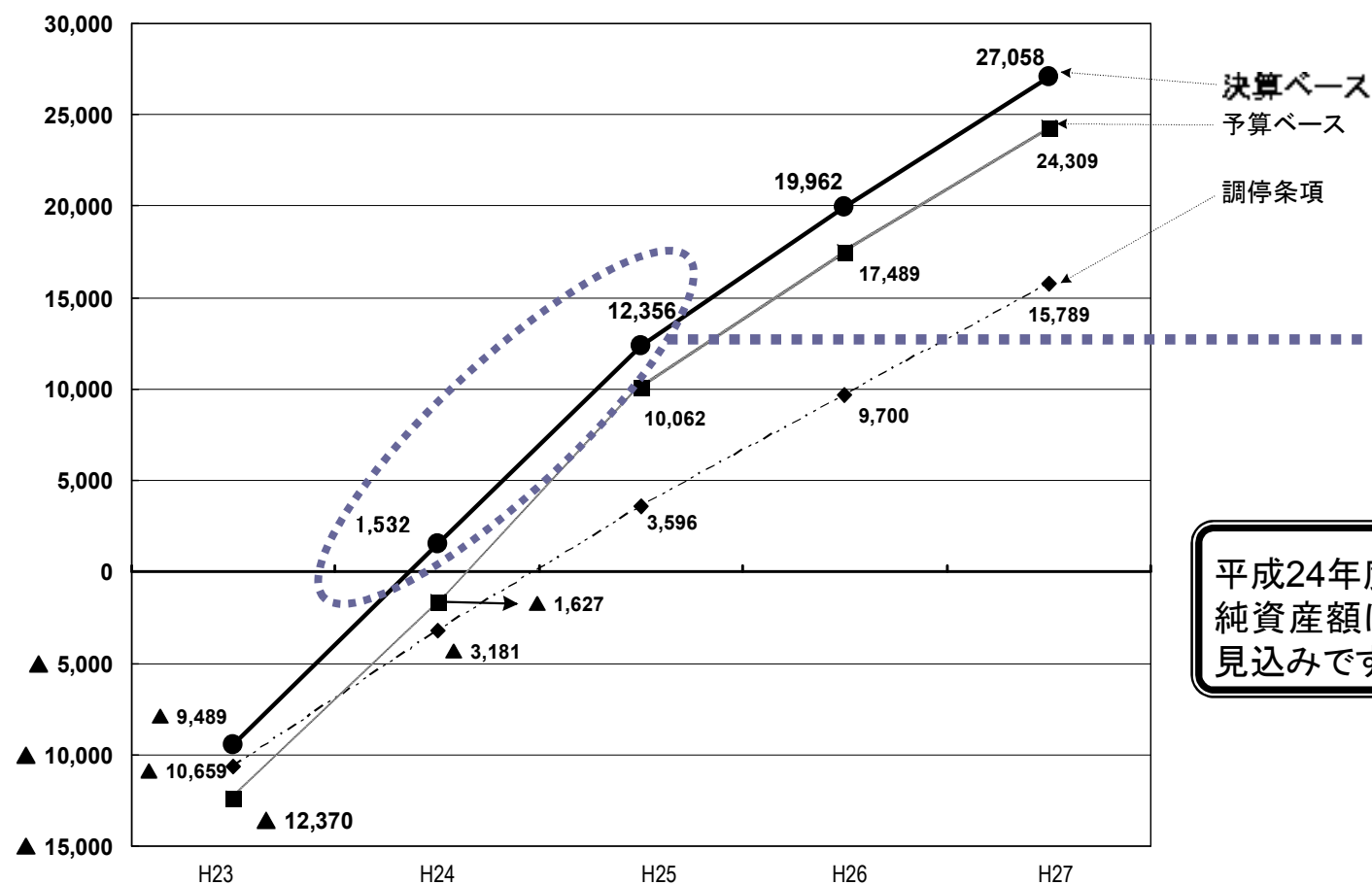
(2) 純資産額の推移

(単位:千円)

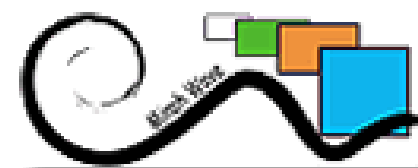
	各年度の予算・決算実績			平成25年度からの予測	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
調停条項	▲10,659	▲3,181	3,596	9,700	15,789
予算ベース	▲12,370	▲1,627	10,062	17,489	24,309
決算ベース	▲9,489	1,532	12,356	19,962	27,058

(千円)

(各数値は繰延税金資産を除いています)



平成24年度末で債務超過は解消し、その後純資産額は予想を大きく上回って増加する見込みです。



箕面都市開発株式会社

平成26年度

予 算

1. 平成26年度予算と調停条項

(単位: 千円・%)

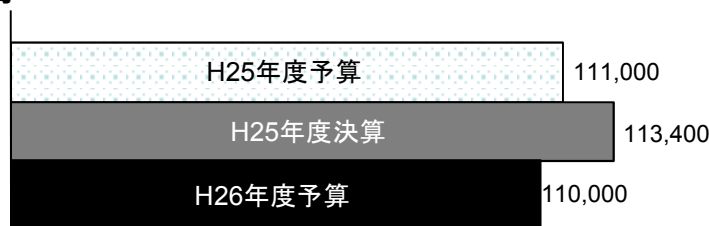
	調停条項 (平成26年度3月期)		平成25年度 予算		平成26年度 予算		平成26年度予算の比較	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	調停条項との 増減率	平成25年度 予算との増減率
売上高	108,000	—	111,000	—	110,000	—	1.9	▲0.9
受託料収入	65,157	—	66,577	—	65,770	—	0.9	▲1.2
所有床賃貸収入	6,907	—	6,150	—	6,150	—	▲11.0	0
土地賃貸収入	23,640	—	21,600	—	21,600	—	▲8.6	0
受取手数料収入	2,296	—	2,483	—	2,480	—	8.0	▲0.1
文化・交流C売上	10,000	—	14,190	—	14,000	—	40.0	▲1.3
営業利益	15,500	14.4	18,500	16.7	16,300	14.8	5.2	▲11.9
経常利益	13,561	12.6	16,552	14.9	14,252	13.0	5.1	▲13.9
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
当期純利益 (法人税等調整額除く)	6,777	6.3	8,531	7.7	7,605	7.0	12.2	▲10.9

2. 売上高・利益ベースの推移

- ・平成25年度決算において、各利益ベースとも平成25年度予算を上回りました。
- ・平成26年度予算において、平成25年度決算と比較すると、売上高、営業利益ともに下回る見込みです。事業終了による売り上げの減収、管理費用の増額、消費税値上げによる収支減少から各利益ベースとも下回る予定ですが、次年度以降の新規事業の売上増加に備えた一時的な減収です。
- ・なお、経営内容の判断指標である期末資金残高や純資産額は、順調に推移する予定です。（6・7頁参照）

■売上高

（単位：千円）

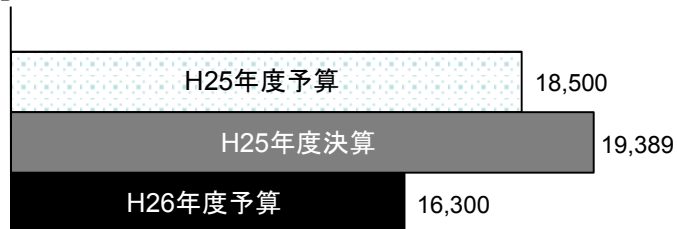


H25予算とH26予算の比較・主な要因

前年比0.9%減

- 一部の受託料収入の値下げに伴う売上の減少

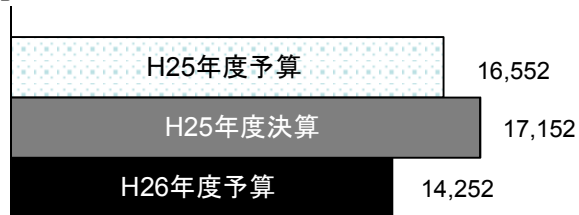
■営業利益



前年比11.9%減

- みのおサンプラザ1号館ビルの耐震化への対応に伴う人件費の増加

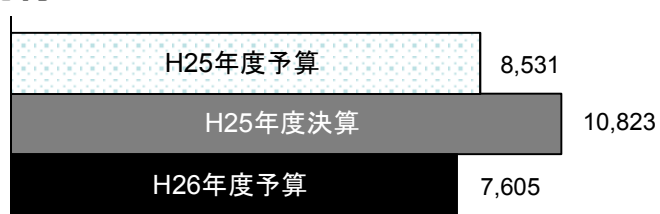
■経常利益



前年比13.9%減

- 営業利益の減益による

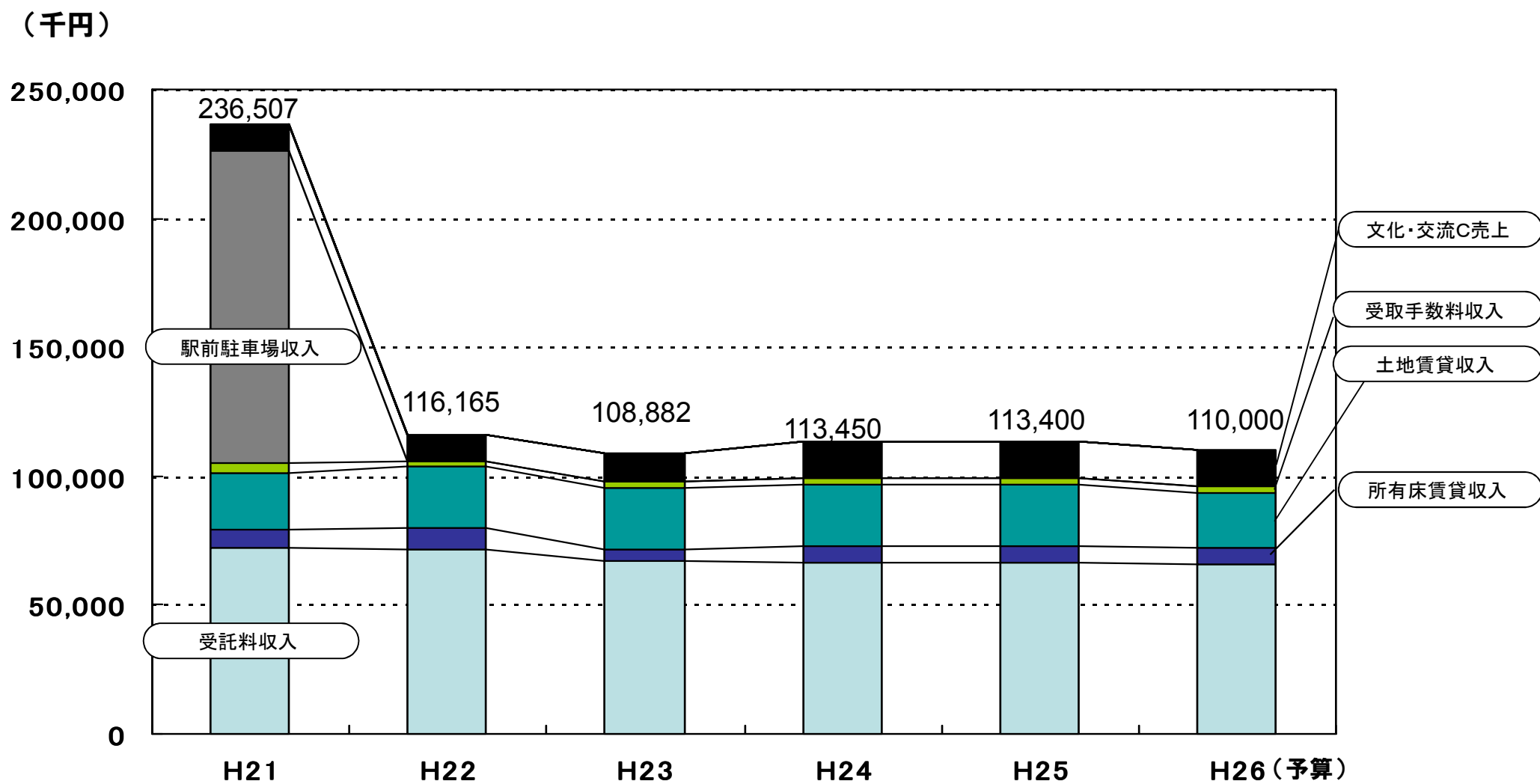
■当期純利益



前年比10.9%減

- 経常利益の減益による

参考１：事業別売上高の推移



参考2：売上高増減の主な要因

